

あま市学校施設長寿命化計画

令和2年3月

2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

本市の公共建築物を維持・更新していくにあたり、学校施設とその他の公共建築物に毎年の予算に明確な区分があるわけではないため、平準化を検討する際には、学校施設、公営住宅、上水道施設、下水道施設以外の公共建築物の個別施設計画である「あま市公共施設長寿命化計画」において、合算して検討を行うものとします。

平準化に際しては、中期財政計画以降の令和 11 年度からは、再配置計画に示される公共建築物の修繕・更新等に充当可能な投資的経費の額である 10.6 億円/年（対象面積：264,245 m²）を基準に、本計画と公共施設長寿命化計画の対象面積の合計 221,749 m²に対して、面積按分した額である 8.9 億円/年（＝10.6 億円/年×221,749 m²÷264,245 m²）を充当可能な投資的経費として検討します。令和 2 年度から令和 10 年度までは、同様の考え方により、中期財政計画より 3.4 億円/年とします。

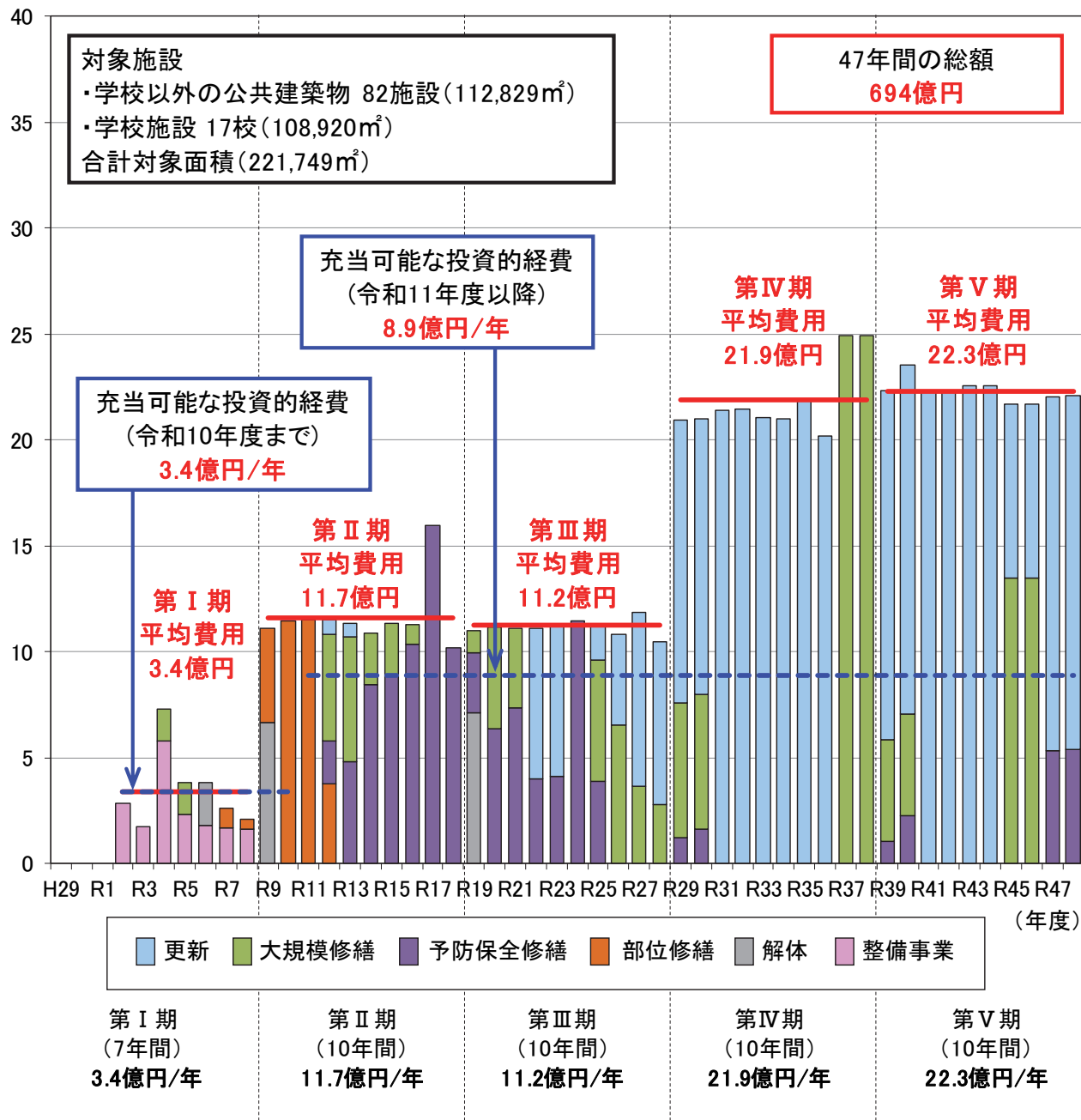
期ごとに平準化を考慮した試算結果を次頁に示します。

表：平準化結果のまとめ

	年 度	充当可能な 投資的経費	平均費用
第Ⅰ期	R2～ R8	3.4 億円/年	3.4 億円/年
第Ⅱ期	R9～R10	3.4 億円/年	11.7 億円/年
	R11～R18	8.9 億円/年	11.7 億円/年
第Ⅲ期	R19～R28	8.9 億円/年	11.2 億円/年
第Ⅳ期	R29～R38	8.9 億円/年	21.9 億円/年
第Ⅴ期	R39～R47	8.9 億円/年	22.3 億円/年

図：平準化を考慮した試算結果（学校施設及びその他の公共建築物を対象）

（億円）



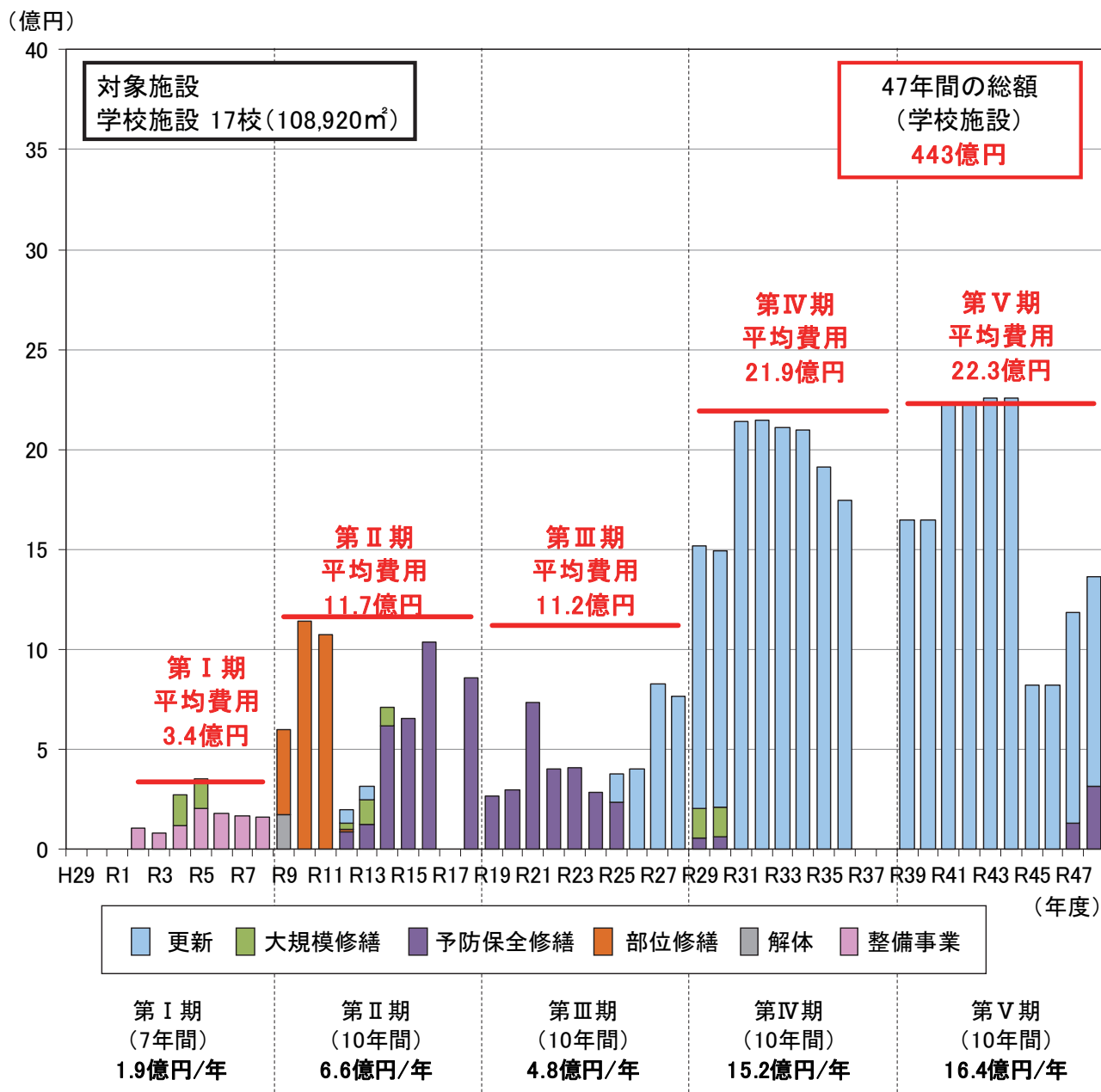
※R2～R8においては、予算計画における施設別整備事業を計上

第Ⅰ期を充当可能な投資的経費（3.4 億円/年）と同等の費用とした場合、全ての工事を実施することができないため、予算の不足分は第Ⅱ期に先送りされることとなります。

第Ⅲ期以降は、特に学校施設の長寿命化後の更新時期（建築から 80 年経過）が到来することから、必要額が段階的に大きくなっていきます。

また、学校施設とそれ以外の公共建築物を合算して平準化した試算結果から、学校施設のみを取り出した結果は次頁のとおりとなります。

図：平準化を考慮した試算結果（学校施設のみを対象）



※R2～R8 においては、予算計画における施設別整備事業を計上

学校施設については、第Ⅳ期、第Ⅴ期に更新が集中しており、それぞれ 15.2 億円/年、16.4 億円/年が必要となる見込みです。

平準化の検討結果からも分かるように、大半の施設を長寿命化することで更新時期が後半に集中することは、将来世代に大きな負担を残すことになるため、小規模校の統廃合や適正規模化、余剰分の規模縮小による更新など戦略的に更新時期を分散化する検討も必要となってきます。

3. 改修等の実施計画（直近 7 年間の予算配分）

令和 2 年度から令和 8 年度までの直近 7 年間においては、

- ・美和中学校 屋内運動場の大規模修繕
- ・七宝小学校 給水管保温材取替工事
- ・美和小学校 屋上防水工事
- ・キュービクル改修工事
- ・公共下水道接続工事
- ・トイレ改修工事
- ・体育館の非構造部材耐震改修（照明の LED 化）

などの工事を行う予定です。

以下に、直近 7 年間の整備費用の見込みを示します。

図：直近 7 年間の整備費用の見込み

